

## 2021年3月期第1四半期決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2020年7月28日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市

## &lt;質問者1&gt;

(1) 先行投資により第2四半期の営業利益が前年並みの想定ということですが、この影響によって第3四半期及び第4四半期の営業利益も前期並みになるのか教えてください。

第2四半期は公共案件を中心に下期及びFY21の大型案件獲得のためのコストが先行する見込みです。大型案件を受注した際は、工事進行基準における進捗の度合いによって収益を計上していくことになります。下期においては、前期を超える計画となっております。

(2) デジタルガバメント実行計画（電子申請関連、2025年3月末までに9割の行政手続きを電子化）について前倒しの話も出ているが、どのような時間軸で見なければいいか？

政府方針、予算の都合もあるため、現時点では明確にお答えできませんが、当社としては、できる限り対応できるように準備を進めております。

(3) デジタルガバメント実行計画の支援という観点で競合はどこになるのか？

全ての省庁あるいは自治体で一斉に進めていく話であり、国内のSIerが総出で対応して何とかするか、ならないか、という規模感の話であると考えております。このため、競合企業については、現時点で明確にお答えすることはできません。

ただ、当社は、農林水産省様との取り組みとして、全国農地ナビの開発・運用実績、電子申請の開発実績があり、これらの中で蓄積した知見・経験を活かせるポジションであると認識しております。

(4) FY20Q1は製造業向けのビジネス停滞を予想していたが、予想に反して製造業向けのビジネスが堅調な結果であった。昨今の状況下で製造業向け案件は足元堅調と見てよいか？

当第1四半期は、昨年第4四半期に受注した案件を着実にこなせた点が良かったと評価している。足元の状況については、一部の案件がスライドしている事実もあります。しかしながら、6月以降、今の状態が継続する前提でニューノーマル対応に向けた優先度を検討しているお客様が増えている印象。ニューノーマルに対応するためのIT投資、特にCRM関連の問合せが増加傾向です。CRM案件は足が長いため、第2四半期の受注残に繋げたいと考えております。

(5) フォント事業の伸びは計画通りか？想定外に伸びた？

一昨年からフォント事業は堅調に伸びており、計画通りです。

<質問者2>

(6) 子会社のサイバートラストの事業環境及び現在の取り組みなどについて教えてください。

サイバートラスト（以下、CTJ）は、WebTrust for CA という国際的な電子認証局の監査規格に合格し、かつ、国内に認証局を持っている企業になります。同条件の企業は国内に2社しかおらず、CTJはそのうちの1社です。

現在、CTJ では社会インフラの中に iTrust（アイトラスト）という電子認証サービスを組み込んでいくことを推進しております。テレワークやDX（デジタルトランスフォーメーション）が進むと、オンライン上でデータのやり取りや契約などが増加するため、本人確認や電子書面の証明の需要が強くなると見込んでいます。

(7) SBテクノロジーの第3次中期経営計画の中で、CTJの成長をどのように見ているか。

CTJ のビジネスは、直接販売ではなくサービスへの組み込みやオンラインでの販売がメインとなるため急拡大する可能性もあるが、中期計画においては現行ビジネスの着実な成長を見込んでいます。

以上